

第5回鉄道技術展「第3回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング」
2017年11月30日 幕張メッセ 国際展示場 302・303会議室
第1部：基調講演／パネルディスカッション
第2部：ショートトークセッション／情報交換会



鉄道と コミュニケーションデザイン

—— サインからひも解く情報環境の未来

人々がスムーズに目的地に到達するためには、駅の案内誘導の「サイン」は必要不可欠なものです。路線のカラーも、車両の色彩も重要な「サイン」の役割を果たしています。コミュニケーションデザインとは、「情報伝達」のためのデザインの領域です。利便性や安全性の確保はもちろんのこと、その地域の個性の創出にも情報デザインの視点はとても重要です。

このフォーラムでは、情報デザインを「サイン」というキーワードでひも解きながら、鉄道事業におけるこれからの「情報環境」のあり方を議論します。



第1部-1 基調講演

「鉄道とコミュニケーションデザイン」

- 鉄道技術と鉄道デザイン／デザインの使命／デザインの3界
- コミュニケーションデザインの重要性／「サイン」あつての鉄道事業
- 情報の発信者と受信者／情報環境の未来／技術と文化



山田 晃三 (やまだこうぞう)

(株)GKデザイン機構 (GK Design Group Inc.) 取締役相談役

愛知県立芸術大学卒。1979年GKインダストリアルデザイン研究所 (現GKデザイングループ) 入所。2002年GKとマツダとの合弁によるGKデザイン総研広島代表取締役。2012年GKデザイン機構代表取締役社長。2016年より現職。鉄道やモビリティのありようを「トータルデザイン」の視点から思考・提言する。日本インダストリアルデザイナー協会理事。日本グッドデザイン賞 (Gマーク) 審査委員フェロー。